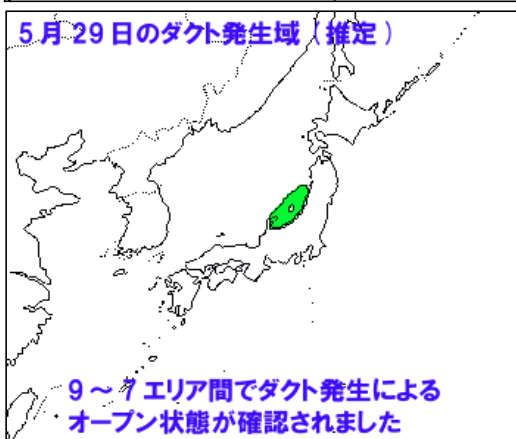


# ダクト発生 9 - 7 エリア間オープン

2007年 5月28日 ~ 5月29日 JG0TEV 中村



不安定ながらダクト発生による9~7エリア間オープン状態が発生した模様です。



ダクト発生による9~7エリア間オープン状態が確認されましたが範囲が限定され不安定だった模様です。

## 気象解析

5月28日

本州付近は北から高気圧に覆われました。やや冷たい空気が流れ込んで前日と比べて気温は下がりました。新潟県内は曇りのち晴れの天気で推移しました。北日本を中心に寒気が流れ込みました。南西諸島や東日本の一部で湿潤域に覆われています。日本海から北日本にかけて高気圧に伴うリッジと負渦度領域に覆われています。

日本州付近は移動性高気圧に伴う高度の上昇と負渦度領域覆われたものの、冷たい空気を伴って気温の上昇量が少なかったこと、東日本を中心に湿潤浮きが解析された影響でダクト発生域が限定され、不安定な状態になったものと推定します。

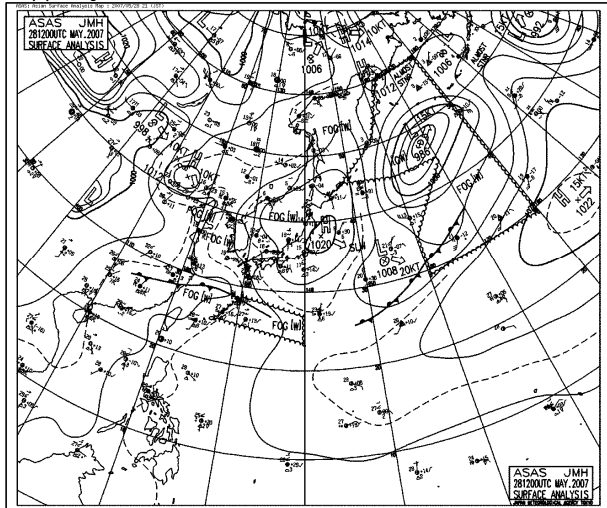
5月29日

日本海西部と南西諸島付近には低気圧があって西から天気は下り坂に向かっています。東日本や北日本は高気圧の勢力が残って晴れました。新潟県内は終日晴れの天気で推移しました。本州付近の高度は低下傾向です。日本海から東北地方にかけて負渦度領域が解析されていますが、北日本広い範囲で正渦度領域の中です。また、日本付近の広い範囲で上昇流域に覆われています。

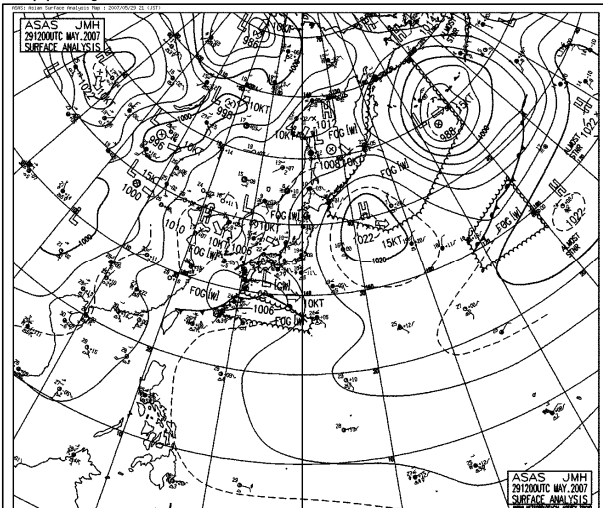
東日本や北日本を中心に日中までは高気圧の勢力が残って負渦度領域に覆われましたが、気圧の谷の接近によって高度の低下と上昇流域に覆われたことでダクト発生域が限定されたものと考えます。

## 地上天気図

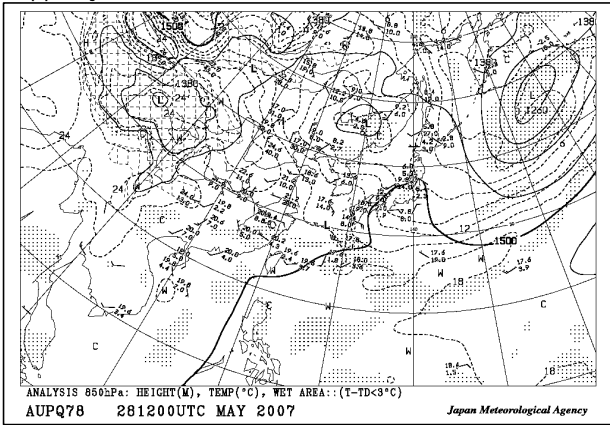
28日21時



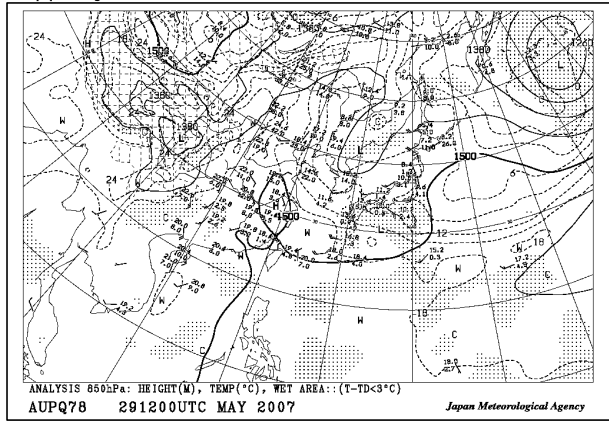
29日21時



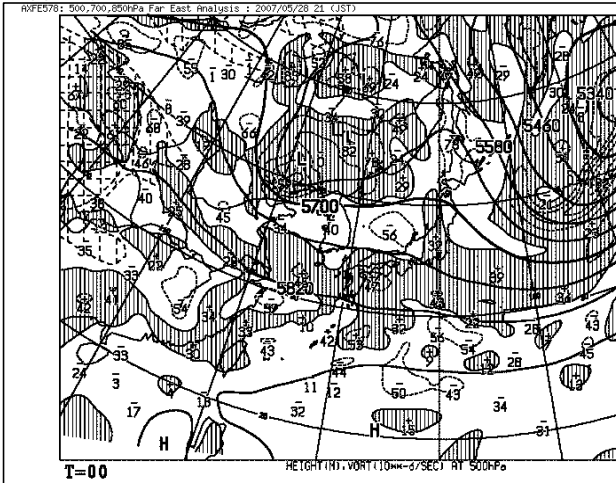
850hpa面高度・気温・湿数  
28日21時



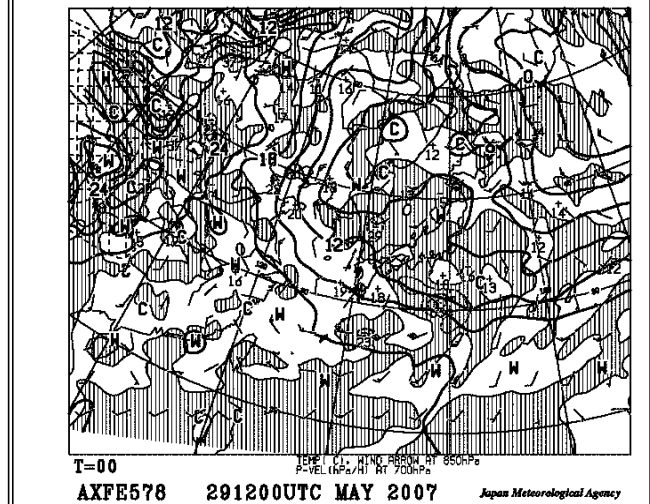
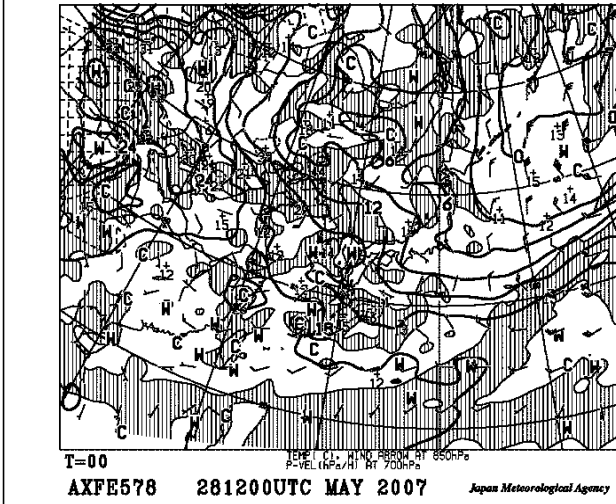
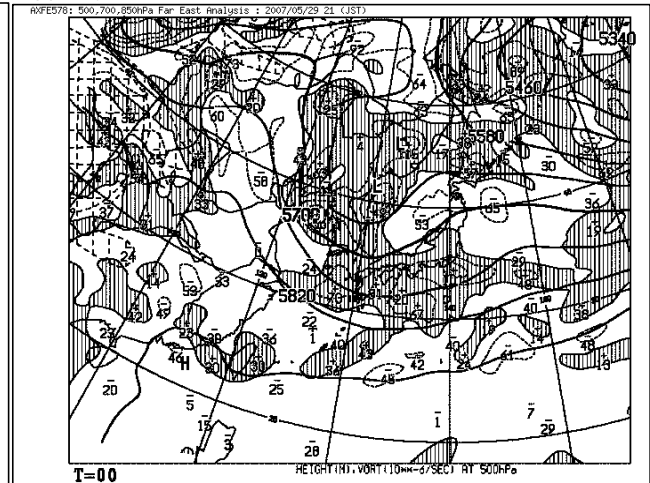
29日21時



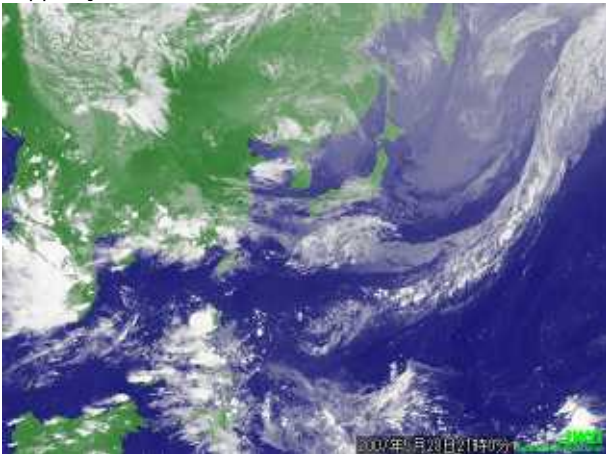
500hpa面高度と渦度・700hpa面鉛直流と850hpa面気温  
28日21時



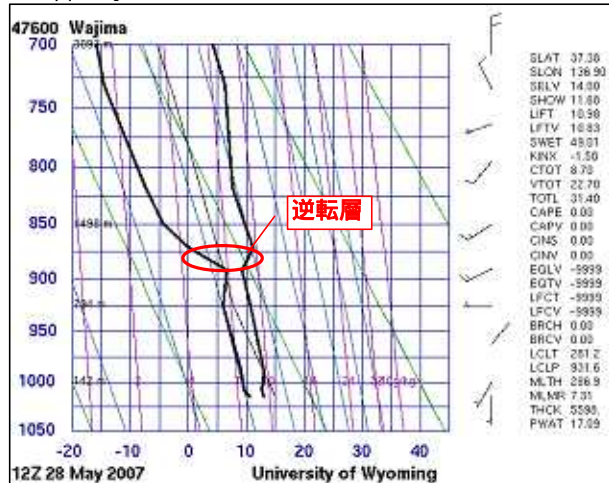
29日21時



【参考】赤外線雲画像  
28日21時



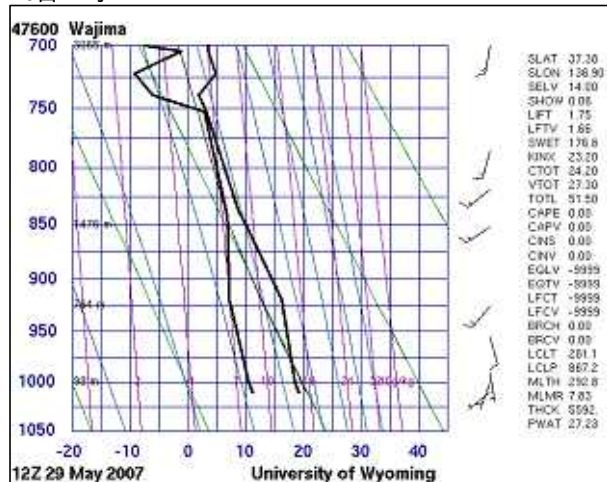
【参考】エマグラム  
28日21時



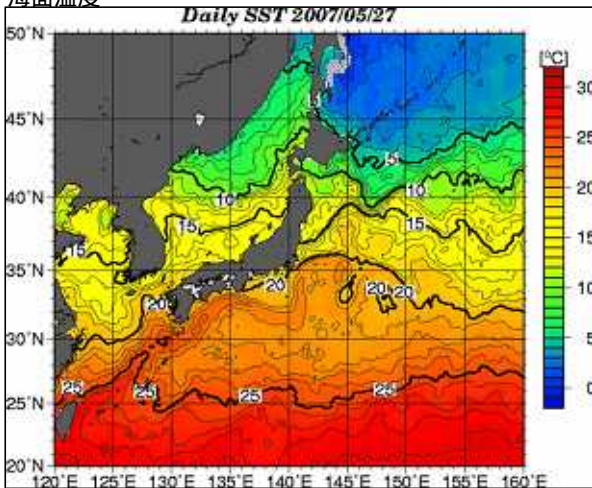
29日21時



29日21時



海面温度



5月28日の最低・最高気温

	天気(9時)	最低気温	最高気温
札幌	快晴	8.0	16.9
仙台	曇	10.6	15.6
新潟	曇	11.8	18.7
東京	晴	14.2	20.2
名古屋	曇	13.5	24.1
大阪	晴	15.0	24.5
広島	曇	15.6	25.9
高知	快晴	17.5	28.6
福岡	晴	18.3	25.0
那覇	曇	25.7	30.4

日本海ダクトが発生した28日は、新潟市の最高気温18.7が海面温度15より3以上高くなっていた

5月29日の最低・最高気温

	天気(9時)	最低気温	最高気温
札幌	晴	8.3	18.8
仙台	曇	8.2	16.9
新潟	曇	13.2	24.3
東京	曇	13.0	22.5
名古屋	曇	16.4	23.6
大阪	曇	17.2	25.2
広島	曇	16.1	26.3
高知	曇	19.3	23.7
福岡	曇	19.2	29.8
那覇	曇	26.2	29.4

日本海ダクトが発生した29日は、新潟市の最高気温24.3が海面温度15より9以上高くなっていた